

令和8年度第3回神奈川県公立高等学校協議会
議 事 録

1 日 時 令和8年8月25日(火)
14時00分～15時00分

2 場 所 神奈川県私学会館 4階 講堂

3 出席委員等 田沼 光明 竹内 博之 柏木 照正
川名 稔 永川 尚文 岡田 直哉
青木 恒夫 山本 大(代理) 原口 尚延
田中 賢 及川 博伸
小林 祐樹 加賀美 博之 藤田 圭

(敬称略)

座長（田中委員）

私学振興課長の田中でございます。前回に引き続き、座長を務めさせていただきます。よろしくお願いします。

皆様、本日はご多用の中、またこのようなお暑い中、お集まりいただきましてありがとうございます。本会議は、原則公開とされています。取材、傍聴者等につきましては、すでに入室されていますので御承知おきください。

なお、本日は、川崎市教育委員会 小竹 誠 委員は御欠席ですが、代理で山本指導課担当課長に御出席いただいております。また、神奈川県立高等学校長の代表 師岡健一 オブザーバーが御欠席です。御承知おきください。

議事に入ります前に、「かながわ教職員組合連合」及び「神奈川県高等学校教職員組合」から、8月21日付けで当協議会あての申し入れ文書が提出されています。文書の写しを机上にお配りしていますので、御確認ください。

また、本日取材に来られております神奈川新聞社様より、会議冒頭の写真撮影の希望がありましたので、皆様の御協力をいただいてもよろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

座長（田中委員）

ありがとうございます。それではよろしくお願いします。

（写真撮影後）

はい、ありがとうございます。それではお手元の「次第」に従い、議事を進めさせていただきます。議題は前回に引き続き「令和9年度の『高等学校生徒入学定員計画』の策定について」です。前回もお話しいたしましたが、例年、当協議会において、翌年度の公私の入学定員について協議を行い、公私間での合意を得た上で、その結果を「神奈川県公立高等学校設置者会議」に報告しています。

協議に入る前に、前回の会議における議論を整理いたします。前回の会議では、令和8年度入学者選抜の結果が報告され、出席者の皆様から結果についての評価や御意見をいただきました。その上で、令和9年度の定員目標の設定方法について、昨年度に引き続き、「公私各々が実現を目指す定員目標を設定する方式」によることを確認しました。定員計画の内容については、時点修正を除き、昨年度の定員計画から文言の修正などの御意見はなく、公私の具体的な定員の目標数値については、それぞれが持ち帰り、御検討いただくこととしました。

以上が、前回会議の振り返りとなります。前回会議の振り返りにつきまして何か御質問等ございますか。

全委員

（質問等なし。）

座長（田中委員）

よろしいでしょうか。それでは議題に入ります。

令和9年度の「高等学校生徒入学定員計画」の策定について、公私それぞれから定員の目標数値を御報告いただきたいと思います。また、目標設定の考え方や実現に向けた取り組み等があれば、併せて御説明ください。まず、私学側からお願いします。

田沼委員

私学側として協議をいたしました結果、まず結論から申し上げますと、14,850人を目標数値としたいと考えております。令和8年度の公立中学卒業生数は前年比でおよそ1,600人程度減少することですが、前年の私学の募集状況を踏まえますと、私学側の定員を大幅に減らす必要はないと考えます。また、私学は「学則定員を維持する」という大原則がございますので、その点を踏まえた結果、昨年度の目標数値からマイナス100人程度が妥当であろうということで、この数字を考えたわけでございます。

座長（田中委員）

ありがとうございます。続けて、公立側から御報告をお願いします。

及川委員

昨年度の入学者選抜につきましては、非常に厳しい結果だと認識しているところでございます。昨年度の状況を踏まえまして、公立側といたしましては、1,600人減の37,750人程度を目標とする数字でお願いしたいと考えております。よろしくお願いいたします。

座長（田中委員）

ありがとうございます。ただいま、公私それぞれから、定員の目標数値について御報告をいただきました。それぞれ出していただいた公私それぞれの数値目標について確認していただくため、会議を一旦休憩にしてお話し合いをいただきたいと思います。その前に何か御意見等があればお願いいたします。

（確認後）

竹内委員をお願いします。

竹内委員

公立中学校の卒業者数が前年比で約1,600人減少見込みという中で、公立さんの方から、定員目標を1,600人減の37,750人としたいという御提案をいただきました。私学としては100人減の14,850人を提示しましたが、このお互いの数字で、全日制進学率はどの程度になるのでしょうか。

座長（田中委員）

では、全日制の進学率について、事務局で計算をお願いします。

事務局

(計算後)

事務局から報告いたします。公立37,750人、私学14,850人、それから、県外の全日制高等学校への進学者の割合を直近5年間平均の8.14%で計算いたしましたところ、全日制進学率は約89.34%となります。以上でございます。

座長（田中委員）

ありがとうございます。事務局からの報告のとおり、公私それぞれの定員目標をもとに計算しますと、全日制進学率は89.34%となる見込みとのことですが、これについて御意見等あればお願いします。

竹内委員

よろしいでしょうか。

座長（田中委員）

お願いします。

竹内委員

ここ数年、全日制進学率は90%を目標としてきました。公私ともに努力はしますが、次年度の全日制進学率の目標を90%のまま維持できるのかということ、ちょっと難しいのではないかという思いもないわけではありません。今の目標数値をもとにすると、全日制進学率は90%にやや届かないという報告がありましたが、もしも90%を維持するとしたら、どの程度目標人数を増やす必要があるのか、教えていただけますか。

座長（田中委員）

では、全日制進学率が90%を超えるために必要な数値について、事務局で計算お願いします。

事務局

(計算後)

事務局から報告いたします。公立中学校の卒業見込者数は64,781人ですので、全日制進学率90%を超えるためには、目標人数を58,303人以上とする必要がございます。現在、公立、私学の定員目標と県外進学者見込数を合わせて57,873人ですので、約450人程度引き上げる必要がございます。以上です。

座長（田中委員）

ありがとうございます。全日制進学率90%を超えるためには、450人程度目標数値を引き上げる必要があるという報告がありました。また御意見等があればお願いいたします。

竹内委員

よろしいでしょうか。公立、私学ともに50人増とする必要があるということかと思う

のですが、新たな提案ですので、慎重に判断する必要があると考えます。改めて、私学側で検討する時間をいただけないでしょうか。

及川委員

昨年度の第3回の神奈川県公立高等学校協議会においては、最終的に公私ともに目標値を引き上げて、全日制進学率の目標90%を目指してきたところですが、公立といたしましては、昨年度、定員目標に1,550人程度届くことができませんでした。

非常に厳しい結果と認識しており、90%まで450人という数字が出ましたが、大きく引き上げることは難しいかと思えますけれども、公立としても一度検討したいと思えますので、よろしくお時間いただければと思います。

座長（田中委員）

はい、ありがとうございます。色々数字が出揃ったところで、もう少し目標数値を引き上げて、全日制進学率を90%に近づけることができないかということについて、公私ともに改めて検討したいという御意見をいただきました。ですので、当初の予定通り、今から10分間の休憩といたします。公立、私学それぞれに控室を用意しておりますので、そちらに移動していただいて、今の議論を踏まえて、再検討をお願いできればと思います。ただいまの時刻が14時12分ですので、14時22分頃に再開いたします。休憩後は、またこのお部屋にお集まりください。どうぞよろしくお願いいたします。

休 憩

座長（田中委員）

それでは皆様お戻りになりましたので、協議を再開いたします。

提案された定員目標値について御検討いただきましたので、その結果をそれぞれ伺いたいと思います。まず私学側からお願いいたします。

田沼委員

450人増というのはなかなか難しいなという感じがしております。ただ、目標人数については、やはり少し増やさなければいけないだろうということで、私学側といたしましては、50人増の14,900人という数字を提案したいと思えます。

座長（田中委員）

ありがとうございます。続いて公立側はいかがでしょう。

及川委員

450人引き上げるというのは、なかなか厳しいというところですが、公立といたしましても、少し努力をしなければいけないということもありまして、定員目標37,750人から、私学側が50人増やすとおっしゃいましたけれども、公立も50人増やさせていただいて、37,800人程度を目標とする数字としたいと思えます。よろしくお願いいたします。

座長（田中委員）

ありがとうございます。公私それぞれ、当初の目標値から50人を増やすということで、私学が14,900人、公立が37,800人という数字を御提案いただきました。この新しい数字で、全日制の進学率の割合がどの程度になるか、事務局で計算をお願いします。

事務局

（計算後）

報告いたします。公立37,800人、私学14,900人の目標としまして、先ほどと同様に県外等進学者の割合を8.14%で計算したところ、全日制進学率は約89.49%になりました。

以上でございます。

座長（田中委員）

ありがとうございます。今報告がありましたとおり、当初の数字ですと89.34%だったところ、公私がそれぞれ50人ずつ増やすという新しい御提案を受けて再計算したところ、89.49%となりました。この数字を受けまして、改めて御意見等ありましたらお願いします。

竹内委員

先ほど、昨年度の協議を思い出して、公私ともに50人増を検討する必要があると発言したのですが、本年度は互いに50人増としても、全日制進学率は89.49%に留まるということですね。この結果を踏まえ、もう一度検討する時間をいただきたいのですが、いかがでしょうか。

座長（田中委員）

竹内委員から、再検討のため時間をというご意見がありましたが、で、公立側はいかがでしょうか。

及川委員

ぜひ検討したいと思います。

座長（田中委員）

わかりました。では5分程度、検討のためのお時間を取りますので、今から5分後、14時32分から33分頃にまたお集まりいただければと思います。よろしくお願いします。

休 憩

座長（田中委員）

それでは皆様お戻りになりましたので、協議を再開いたします。

最初の休憩後に提案された、公私ともに定員目標を50人増やすという内容について、

今の時間で御検討をいただきました。それぞれまた御意見を伺いたいと思います。私学の委員からお願いいたします。

田沼委員

私学側では14,900人、それから公立さんの方で37,800人ということで、検討いたしました結果、今年はこれでいくのがよろしいかなというふうに思います。全日制進学率は約89.5%ということですが、この目標に向けて努力をしたいと思っております。

座長（田中委員）

ありがとうございます。続いて、公立側お願いします。

及川委員

公立の中学校卒業見込者数の減少があることに加え、毎年10月に実施されております公立中学校卒業予定者の進路希望調査によりますと、全日制を希望する生徒の割合は89%程度で推移をしている状況がございます。これらのことを踏まえますと、公私での全日制の定員目標、先ほど発表されましたけど、89.49%とのことですので、全日制を希望する生徒を公私学で十分に受け入れることができるので、今回の目標で妥当だと考えております。

座長（田中委員）

ありがとうございます。

私学の定員目標14,900人、公立の定員目標37,800人、これを元に算出した全日制の進学率は89.49%ということで、公私それぞれの側からこの数字としましょうという御意見をいただきました。これにつきまして、またさらに御意見等あればお願いします。

では、三市の方からもこれにつきまして御意見伺えればと思います。

青木委員

はい、横浜市です。最近の全日制進学率の実績、また、進路希望調査の推移を見ますと、適正な数字ではないかと考えます。

川崎市 山本指導課担当課長

川崎市です。川崎市も横浜市と同じく、妥当な数字だと考えております。

川崎市はもともと、立地上、県外の私学や、その他へ出ていくという受検生も多くおります。その中で、いわゆる広域通信制といった学校の川崎市内で学べるスペースがあるというような学校も、来年度以降、続々開校するというような情報を聞いておりますので、それも踏まえた上で、適正な数字だと考えております。

原口委員

横須賀市です。先ほど高校教育課の課長様からお話がありましたけれども、中学校

の卒業生が、かなり減っているというふうなところの中で、最近89%程度で推移をしているというのをお聞きしておりますので、横須賀市としても、この89.49%というのは、適正であると思っております。

座長（田中委員）

ありがとうございました。この際ですから、もしオブザーバーの方からも御意見ありましたら伺いますが、いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

（確認後）

お願いします。

小林オブザーバー

横浜市の東山田中学校、校長の小林と申します。中学校側としては、こういうふうに中学校の後の進路の選択を幅広く考えていただけるという、非常にありがたいかなと思います。先ほど川崎市からもありましたが、近年の傾向として、広域通信制に進学する中学生に限ってがすごく増えてきているという傾向があります。また、私学の高等学校の授業料の無償化の影響も受けていると思いますので、その中でも公私で協調していただいて、全日制進学の可能性を広げてくださることは非常にありがたいなと思いますので、引き続きよろしくお願いいたします。

座長（田中委員）

ありがとうございます。その他よろしいでしょうか。

それでは最後に確認します。公立の定員目標が37,800人、私学の定員目標が14,900人となりましたが、よろしいでしょうか。

（確認後）

ありがとうございます。

では、本日配布している「資料3」の5ページを御覧ください。空白となっている人数の部分に、公立の定員目標が「37,800人程度」、私学の定員目標が「14,900人程度」と記載することといたします。この合意文書案について何か御質問や御意見等ございますか。

全委員

（意見等なし。）

座長（田中委員）

それでは本日の議題のまとめに移ります。ただいま、公私の双方から提案された定員の目標数値及び合意文書の内容については御了解をいただきました。これを踏まえて、令和9年度の定員計画を最終的に整理いたします。

本日の協議において、定員目標に係る公私間の合意が整ったところですが、来週9月4日金曜日に開催予定の「神奈川県公立高等学校設置者会議」の中で、私から報告

し、そこで定員計画の最終決定とさせていただきたいと思います。本日合意した内容については、現時点では決定前のものですので、情報の取り扱いには御注意いただきたいと思います。なお、最終的な文書の案や形式に微調整が生じた場合は、恐縮ですが、座長であります私に御一任いただければと思います。よろしくお願いします。

そうしましたら、次第の「2 その他」として、何か他にございましたら御発言をお願いいたします。

全委員

(意見等なし。)

座長（田中委員）

それでは、これをもちまして、令和8年度第3回神奈川県公立高等学校協議会を終了いたします。誠にありがとうございました。